



9月の園だより

社会福祉法人 あいの里 さやま保育園
2025年9月1日発行

保育目標 報謝 ありがとう

- ・だれにでも、進んで「ありがとう」をいいます。
- ・お友だちを励ましたり、協力したり、わくきら☆スポットちゃを楽しむ。



【法話】

【お彼岸】

お彼岸は、「暑さ寒さも彼岸まで」と、昔から言われるように、春と秋の年に二回、一週間ずつあります。その一週間の真ん中の日が、彼岸の中日で、現在では、春分の日、秋分の日という祝日になっています。ではなぜ祝日なのでしょうか？暦と夜の長さが同じだから……太陽が真東から昇るから……？「国民の祝日に関する法律」には、秋分の日は「祖先を敬い、亡くなった人をしのぶ」とあります。昔からの仏教行事であるお彼岸の意義をくんで、祝日に定められているようです。

今の私のいのちがあるのは、数え切れない多くのご先祖の方々がおられたからです。その多くの方々の大きなお徳を偲ぶ中で、私自身のいのちを考える日として定められているのが、お彼岸なのです。

日頃は、彼の岸（真実の世界）に目をそむけて、此の岸（迷いの世界）に生きている私達ですが、お彼岸に際し、少しでも私のいのちについて、真正面から考えてみたいのです。私自身の、いのちが、どこから来て、どこに行くのか、真剣に考えてみましょう。私の頭では、答えは出ませんし、仏教・仏さまの教えに尋ねる・御聴聞する以外、答えは見つかりません。

今年のお彼岸（9月23日）には教證寺で彼岸会が勤まります。どなたでもお参りいただけ御聴聞できる行事です。お待ちしています。

合掌

今月の行事予定

- 1・29日 礼拝 8~12日 避難訓練
発育測定(11日あひるひよこ 12日うさぎりす
10日ぞうきりん)
- 17日 クッキー作り 19日 誕生会
24日 わくきら☆リハーサル
26日 前日準備・午後特別保育・延長保育無し
27日 わくきら☆スポットちゃ(富士商ドーム)



【 人の体温(あたたかさ) 】

NHKの朝ドラは、みんなが知っているアンパンマンのやなせたかしさんが主人公です。そのやなせさんのやさしい言葉を詩集にした、先輩のハ木さんの台詞にこんな言葉がありました。「人が生きていくのに必要なのは、『栄養のある食べ物』『住まい』『音楽』『物語』そして『人の体温(あたたかさ)』」と、

子どもにとっても大人にとっても同じで、保育園が大切にしている保育と全く同じだなあと感じたことです。特に『人の体温(あたたかさ)』は、乳幼児期に育まれる愛着形成が、成長していく過程でも大人になっても、自分らしさを肯定して生きる力=安全基地になっていくと言われます。

先日保育園のホームページの異年齢保育にアップされた、「未満児まねっこイットショータイム」をご覧になりましたか？ふだんのそのままの未満児の様子ですが、わくきら☆スポットちゃのダンスを保護者の皆さんにも覚えていただこうという意図で動画を公開しています。音楽に合わせて体を自由に動かす子どもたち、好きな動作を真似ている子、先生と触れ合いたい子、好きな場所で、好きな方向を見て、外のあひる組を見に行く子、保育者のお膝の上で見ている子もいたかもしれません。大好きな先生が楽しく踊るこの空間にいることが、どの子も楽しそうで嬉しそうです。子ども達の主体性を大切にした、この空間の雰囲気そのものが、子どもの安全基地（あたたかさ）ではないでしょうか？わくきら☆スポットちゃでのまねっこイットショータイムが、保護者の皆さんとの素敵な触れ合いになることが楽しみです。

乳幼児期は五つの感覚（視覚・聴覚・臭覚・味覚・触覚）が最も発達する時期で、その記憶は生涯に渡り安全基地となっていきます。卒園児の学生さんが実習に来てくれて、「誕生会のクッキーの味が忘れられない」と言ってくれました。子ども達に親子の温かさ、感覚を通してのあたたかさである親子の触れ合いのお手伝いが、保育園の大きな役割です。